

2026.5.20

株式会社みんなの銀行

みんなの銀行初の試みとなる高校生親子向け金融教育体験イベントを開催 高等学校での金融教育拡充から4年、座学から実践へ



株式会社みんなの銀行（取締役頭取 永吉 健一、以下「みんなの銀行」）は、去る2026年4月12日に、高校生親子向けの金融教育体験イベントを福岡市の複合エンターテインメント施設「BOSS E・ZO FUKUOKA」にて開催しました。

2022年度からの高等学校での金融教育の拡充やキャッシュレス化が進む一方、デジタルでのお金に対する保護者の不安の声も聞かれます。本イベントは、このような保護者の不安を解消し、高校生に座学だけでなく実践を通じて「お金」を自分ごととして捉え、主体的に学ぶ機会を提供することを目的に開催されました。

当日は九州在住の親子8組16名が「BANKING IS PLAYABLE」のテーマのもと、楽しみながらお金の管理を“自分ごと”として体感しました。

みんなの銀行は、これからも「みんなに価値あるつながりを。」をミッションに、デジタルネイティブ世代の金融リテラシー向上をサポートし、新しい金融の価値を提供していきます。

イベント概要

参加者はまず、講義でお金の管理の基本について学んだ後、みんなの銀行から提供された体験資金1万円の使い道を親子で計画。みんなの銀行アプリの「ボックス」機能を活用して目的ごとにお金を仕分けし、スマートフォン一つでBOSS E・ZO FUKUOKA館内でアトラクションやお食事を楽しみながら、「ATMでの入出金」や「キャッシュレス決済」などのミッションに挑戦しました。

イベントの最後には、当初の予算計画に対する結果を発表し、残金は「未来への投資BOX」に振り分けるなど、実践を通じて楽しくお金の管理を学びました。

参加者の声（参加後アンケートより）

高校生

「計画を立てて遊べたのが楽しかった！」（高3・女性）

「支払い時に（スマホを）かざすだけだったので支払いが楽でとても良かった」（高1・女性）

「パスワードなどの入力にとっても苦戦したけど、とても楽しく操作できてよかったです」（高2・女性）

保護者

「想像した以上に（子どもが）アプリを使える事に驚いた」（50代・男性）

「（子どもが）デジタルでのお金の管理を身を持って学べたことが良かったです」（50代・女性）

「私が当たり前だと思っていた通帳や口座の管理を、娘ができない様子を見て、親子の意識の違いに気づいた。（これを機に）もう少し娘と話していきたいと思います」（40代・女性）

みんなの銀行 取締役頭取 永吉 健一 コメント

未来を担う若い世代が、親子で協力しながら新しいテクノロジーに触れ、楽しみながらお金について学ぶ姿に、本イベントの確かな手応えを感じています。お金は、それ自体が目的ではなく、人生を豊かにするための『道具』です。今回の体験が、その道具を正しく使いこなす『生きる力』を育むきっかけとなり、ご家庭での会話や今後の学びに繋がっていくことを期待しています。みんなの銀行は、今後もデジタルバンクならではのアプローチで、デジタルネイティブ世代の金融リテラシー向上に貢献してまいります。



本件に関するお問合せ先

株式会社みんなの銀行 広報担当:今村・市原・岡 TEL:092-791-9231 E-mail: pr@minna-no-ginko.com